

取扱説明書

PP-Tread

SW1200

お客様へのお願い

組み立て及びご使用する前に、必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
指定以外の取り付け方法や指定以外の使用方法をすると、事故やケガの原因となる場合があります。

「取扱説明書」、「操作説明書」は必ず、いつでも見られるところに保管してください。
設置場所は水平な床の上に置き十分なスペースをとってください。

テレビ等、電磁波の発生する機器より2メートル以上離れた場所においてください。

も く じ

	ページ数
■ 安全上のご注意	3-9
■ 設置についての確認	8
■ 商品仕様	9
■ 電気についての確認	10
■ 商品内容の確認	11
■ 組み立て方法	12-14

安全上のご注意

☆ お使いになる前によくお読みください。

- ・ ここに示した警告サインと図記の例は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。
- ・ 表示と意味は次のようになっています。

警告サイン	内 容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害(注1)の発生が想定される内容を示します。

(注1) 物的損害とは、家具・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

図記号の例	
	△記号は注意(警告を含む)を表示します。具体的な注意内容は、△の中や、近くに文章や絵で示します。左図の場合は“感電注意”を示します。
	○記号は禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は○の中や、近くに文章や絵で示します。左図の場合は“分解禁止”を示します。
	●記号は強制(必ず守ること)を示します。具体的な強制内容は、●の中や、近くに文章や絵で示します。左図の場合は“一般的な強制”を示します。

安全上のご注意

●健康を害することのないために必ず守っていただきたいこと

⚠ 警告		⚠ 注意	
本機は、健康な人を対象とした商品です。心臓病、高血圧症、糖尿病、呼吸器疾患、変形性関節症、リマウチ、痛風、妊娠中の方、リハビリ目的とする方は、必ず医師と相談の上使用してください。 ※事故や体調不良をおこす原因となります。		運動前のウォーミングアップ、運動後のクールダウンは必ずおこなってください。 ※ケガや健康を害する恐れがあります。	
		日頃、運動していない方は、徐々に運動強度を上げるようにしてください。 ※ケガや健康を害する恐れがあります。	
運動中、身体に異常（めまい、冷や汗、吐き気、脈拍の乱れ、動機など）を感じたときはただちに運動をやめてください。 ※健康を害する恐れがあります。		飲食後や、疲労時、運動直後、または体力の状態が平常でないときは、運動をおこなわないでください。 ※健康を害する恐れがあります。	

●お子様の事故やケガを防ぐために必ず守っていただきたいこと

⚠ 警告		⚠ 警告	
使用中、本機の周りにお子様を近づけないでください。 ※ケガをする恐れがあります。		保護者の方は、お子様が本機で遊ばないようにご注意ください。 ※ケガをする恐れがあります。	
		本機にお子様がぶらさがったり、寄りかかったりしないように注意してください。 ※ケガをする恐れがあります。	
開梱したときにでるビニール袋で遊ばせないようにしてください。 ※窒息する恐れがあります。		お子様が保護者の指導監督なしに勝手に使用しないようご注意ください。 ※ケガをする恐れがあります。	

安全上のご注意

●本機を安全に使用していただくために必ず守っていただきたいこと

⚠ 注意		⚠ 注意	
本機は、取扱説明書に従って正しく使用してください。 ※ケガをする恐れがあります。		ご使用前に、ベルトに亀裂や摩擦などの変化がないか、接地部のがたつきやハンドルなどの接合部に異常がないか確認してから使用してください。 ※使用中に破損すると危険です。	
運動に適した服装で使用してください。回転、駆動部に巻き込まれる恐れがあるため、ひも類のない服装にしてください。 ※ケガをする恐れがあります。 ※衣服を損傷する恐れがあります。		乗降する場合などに手すり(オプション品)にもたれかからないように注意してください。 ※転倒やケガをする恐れがあります。	
本機は、運動に適した靴を履いて使用してください。 ※ケガをする恐れがあります。		ベルトが一方に片寄ってきたり、はずれそうになったときは、使用を中止し、ただちにベルト調整ネジで調整してください。 ※ケガをする恐れがあります。	
本機は、別の用途に使用しないでください。 ※ケガをする恐れがあります。	!	ベルトの中央を歩いてください。 ※ベルトの端や左右に片寄って歩くとベルトの片寄りや摩擦、破損の原因となり、ケガをする恐れがあります。	!
同時に2人以上で使用しないでください。 ※ケガをする恐れがあります。		トレーニング中、ベルトの走行方向に対し逆方向につっぱったり、足をひきずるような歩行はしないでください。 ※ケガをする恐れがあります。	
トレーニング中は必ず安全キーを使用してください。 ※事故を誘発する恐れがあります。		ベルト調整中はベルトに触れないでください。 ※ケガをする恐れがあります。	
最大使用体重制限は 182Kg です。体重が 182Kg を超える方は使用しないでください。 ※使用中、破損する恐れがあります。 ※安全装置が作動し、ベルトが急に停止する恐れがあります。		動かない場合や異常を感じたときは、使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグを抜き、ご購入された販売店までご連絡ください。 ※発火したり、故障や事故の原因となります。	
歩行中、歩行デッキに飛び乗ったり、飛び降りたりしないでください。また、トレーニング中に本機を動かしたり、周囲の人が使用者を押したりしないでください。 ※事故の誘発や転倒の恐れがあります。		分解や修理、改造を行なわないでください。 ※発火したり、故障や事故の原因となります。	⚡

安全上のご注意

●設置や移動するときに必ず守っていただきたいこと

(テレビ等、電磁波の発生する機器より2メートル以上離れた場所に設置してください。)

⚠ 注意		⚠ 注意	
乗り降りや運動に十分なスペースを確保してください。	!	歩行デッキを折りたたむときや倒すときは、電源プラグを抜いてください。	!
※事故の誘発や転倒の恐れがあります。		※事故の誘発やケガをする恐れがあります。	
水平な堅い床の上に設置してください。		歩行デッキを折りたたむときや倒すときは必ずデッキの後を持ってください。	
※転倒してケガをする恐れがあります。		※事故の誘発やケガをする恐れがあります。	
※本機が沈み込み、畳・じゅうたんにベルトが擦れて損傷したり、摩擦熱で発火、発煙の恐れがあります。		移動時には、歩行デッキが折りたたみ止め具でしっかりと固定されていることを確認してください。	
表示ユニットを取り付けている固定用ネジやスタンドの取り付けネジが確実に取り付けができているか、また調整部が適切に調整されているか、必ず確認してください。	!	※転倒やケガをする恐れがあります。	!
※ネジがゆるんだまま本機を使用すると、ケガをする恐れがあります。		本機を手前に傾けるときは、デッキの後方を持ってください。	
本機の下に破れにくく、滑りにくいシートなどを敷いてください。		※デッキの後方を持って移動しないと事故の誘発やケガをする恐れがあります。	
※本機がシート上で滑り、転倒してケガをする恐れがあります。		屋外や浴室付近、湿気やホコリの多いところ、水滴などがかかる場所には設置したり保管しないでください。	
※床面を傷つけたり、汚したりする恐れがあります。		※感電する恐れがあります。	
電源プラグや電源コードは濡れたり燃えやすい物が近くにあることを確認して使用してください。	!	※さびが発生したり故障の原因になる恐れがあります。	!
※感電、発火の原因になります。		ベルト面が直射日光に当たる場所や、高温の場所には設置しないでください。	
設置や移動をするときは、電源プラグを抜いてください。		※ベルトの劣化の原因になります。	
※感電する恐れがあります。		※カバー等が変形することがあります。	
※事故の誘発やケガをする恐れがあります。		本機は重量物であるため、無理な姿勢で持ち上げたり、支えたりしないでください。	
		※腰痛やケガの恐れがあります。	

安全上のご注意

●電源の取り扱いについて必ず守っていただきたいこと

⚠ 警告	
電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。 ※感電やケガをする恐れがあります。	
⚠ 注意	
電源は必ず交流 100V/15Aを使用してください。ブレーカーからの専用回路使用。 ※火災や感電の原因になります。	
タコ足配線は、使用しないでください。 ※火災や感電の原因になります。	
電源プラグはホコリを拭き取り、コンセントにしっかりと根元まで差し込んでください。 ※感電、ショート、発火の原因になります。 ※使用中に電源プラグが抜けると急にベルトが停止し、ケガをする恐れがあります。	
⚠ 注意	
使用後は電源スイッチを切り、使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。 ※事故やトラブルにつながる恐れがあります。	
電源プラグを抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。 ※電源コードが断線やショートして火災や感電の原因になります。	
アースは確実に取り付けてください。 ※静電気や故障のときの感電防止のために、アースは必ず取り付けてください。アースの取り付けは、お買い上げの販売店、電気工事店へご相談ください。 (取り付け工事は有料です。)	

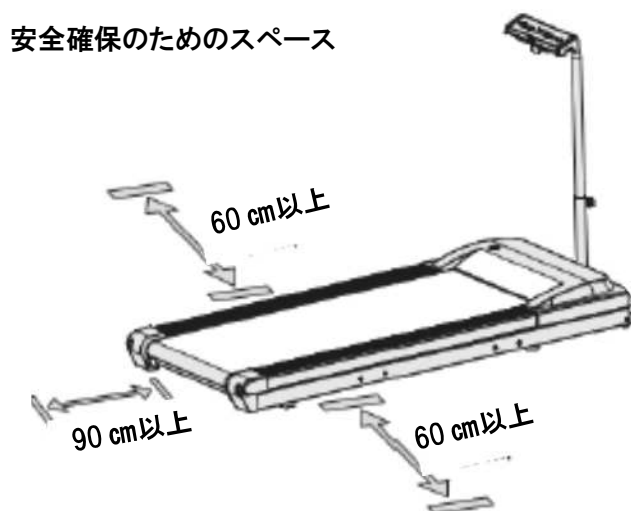
お願い

- 本機を火気あるいは熱源の近くに保管しないでください。
- 本機の表示ユニットは精密な電子部品でできています。移動するときなどに衝撃を与えたり振動の加わる場所での使用は避けてください。(動作が不安定になったり破損する場合があります。)
- 本機の使用環境温度は+10℃～40℃です。この温度範囲以外での使用は避けてください。(故障の原因になります。)
- 運動中は、タバコを吸わないでください。
- 歩行デッキやベルトの隙間などに異物を入れないでください。特にお子様のいるご家庭は注意してください。(異物が入ったまま使用すると故障の原因になります。)
- 本機を廃棄するときはお住まいの市区町村の指導に従って処分してください。(環境汚染の恐れがあります。)

設 置 に つ い て の 確 認

1. 屋外や浴室付近、湿気やホコリの多いところ、水滴などがかかる場所には設置したり保管しないでください。
2. ベルト面が直射日光に当たる場所や、高温の場所には設置しないでください。
3. 設置や移動をするときは、電源プラグを抜いてください。
4. 水平な堅い床の上に設置してください。
5. 本機を火気あるいは熱源の近くに保管しないでください。
6. 本機の表示ユニットは精密な電子部品でできています。移動するときなどに衝撃を与えたり振動の加わる場所での使用は避けてください。（動作が不安定になったり破損する場合があります。）
7. 本機の使用環境運度は $+10^{\circ}\text{C}$ ～ 40°C です。この温度範囲以外での使用は避けてください。（故障の原因になります。）
8. 電磁波の発生する機器の近くでご使用すると、誤作動が起きる場合がございます。遠ざけてご使用ください。
9. 電源は必ず交流 100V/15Aを使用してください。
10. タコ足配線はおやめください。

トレッドミルを使用する場合は下記の図の様に必ず両側 60 cm 以上、後ろ側 90 cm のスペースを確保してお使いください。



商 品 仕 様

名 称	PP-Tread
形式	SW1200
電源	AC100V 15A 50/60Hz 電源ケーブル長 1m 常時 1500w 供給可能な単独アース付コンセント使用
重量	58.3kg（専用手すり 16.5kg）
設定速度	約 0.2～6.40km/h
計器表示	速度 距離 時間 消費カロリー ステップ数
最大使用体重	182Kgまで
本体サイズ	（約）幅 700×長 1600
走路サイズ	（約）幅 510×長さ 1235mm
ディスプレイ	LED
使用環境温湿度	+10～+40℃ 30～80%RH
使用モーター	DC3.0HP（トレッドミルパワー）
ローラーサイズ	前方 6cm、後方 5cm
操作ボタン	On/Start, Stop/Reset, Speed Pre-Set, Speed Up/Down, Enter Mode
アジャスター	4 個の独立タイプ
原産国	台湾

※ 本仕様書は予告無しに変更することがあります。

※ 日本国以外での使用は責任を負いません。

電 気 に つ い て の 確 認

コンセントについて

変換アダプターご使用の際はアースはプラグに必ず取り付けてください。

コンセントにアース端子がある場合、プラグから出ているアースコードを取り付けます。

※アース線を接続するときは電源スイッチを必ず切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

※コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。

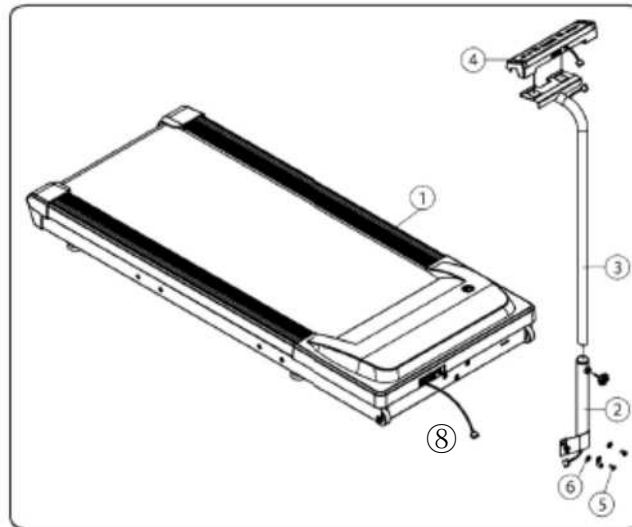


注意！ トレッドミルを使用する際、延長コードを使わないでください。

注意！ GFI タイプのコンセントへの差し込みはしないでください。

商品内容の確認

※開梱時に部品点数を確認してください。足りない場合は販売店へご連絡ください。



- ⑤ M8 x 16L (x3) ⑥ M8ワッシャー (x3) ⑦ 六角レンチ 5mm
- 

部品 NO.	部品名
①	本体
②	ブラケットセット
③	コントロールパネル用支柱
④	コントロールパネル
⑤	M8×16L ボルト 3 個
⑥	M8 ワッシャー 3 個
⑦	六角レンチ 5mm
⑧	電源コード

組 立 て 方 法

< 設置時に関する注意事項 >

- 設置前に設置する十分なスペースがあるか確認をしてください。
- 水平な堅い床に設置してください。
- 床面を傷つけたり、汚さないように滑りにくく破れにくいシートなどを敷いてください。
- 電源コードは約2mです。電源コードがコンセントに届く範囲に設置してください。
- 電源は必ず交流100V15A を使用し、延長コードを使わない事を強くお勧めします。

はじめに箱から全ての部品を取り出しましょう。

※本体は重量物です。取り出すときには十分に注意してください。

以下の手順にて組み立てを行なってください。

1. 図1 参照

床を傷つけない様、あらかじめマットなどを敷いてから、その上で箱を開封して下さい。

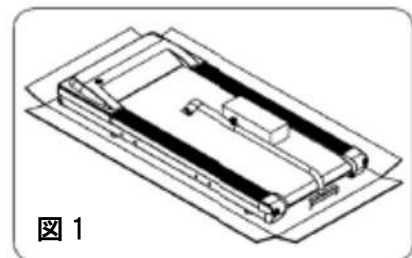


図 1

2. 図2参照

支柱③をブラケット②に差し込み、つまみねじで固定してください。

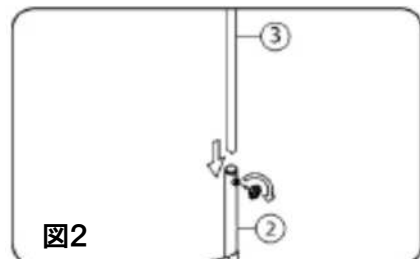


図2

3. 図3参照

本体に付属の六角レンチでブラケット②をワッシャー⑥、ボルト⑤ 3か所固定してください。



図3

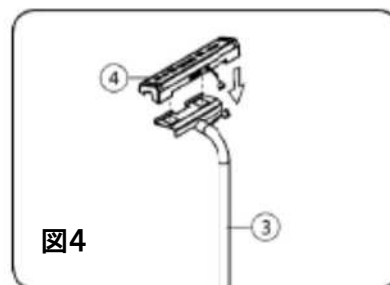
5mm Allen
Wrench

M8 x 16L
(x3)

M8 Washer
(x3)

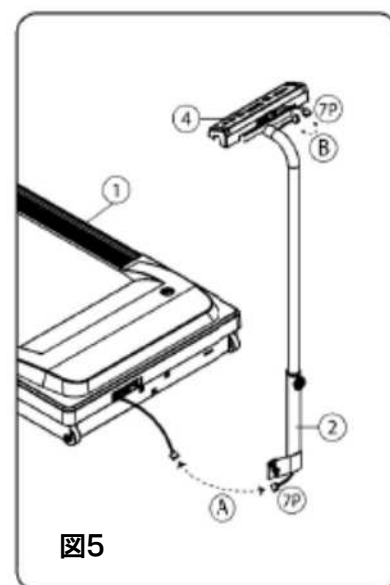
4. 図4参照

コントロールパネル取り付け支柱③に対して上部から垂直方向にコントロールパネル④を固定してください。



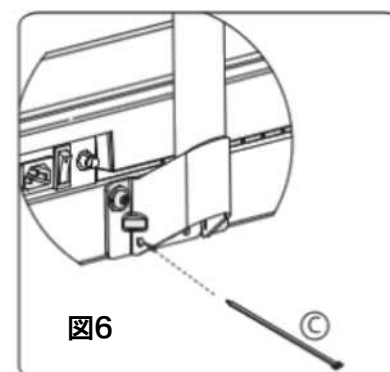
5. 図5参照

本体から出ているケーブルと支柱下部の 3 ピン・4 ピンケーブルを接続してください(A)。また、コントロールパネルから出ているケーブルと支柱上部の 3 ピン・4 ピンケーブルを接続してください(B)。



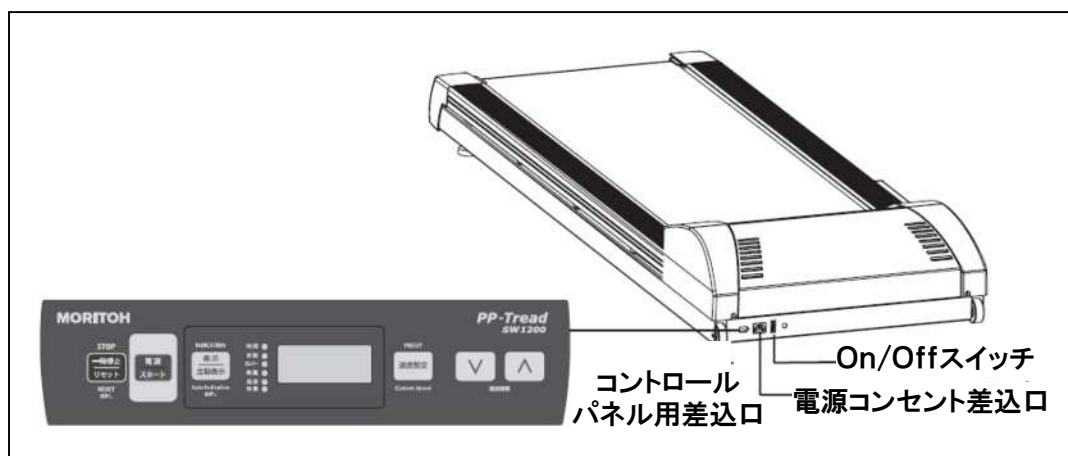
6. 図6参照

支柱下部のケーブルをインシュロック(C)で固定してください。



組 み 立 て 方 法

電源コードを差込口に差し、スイッチの「I」側を押すと電源が入ります。

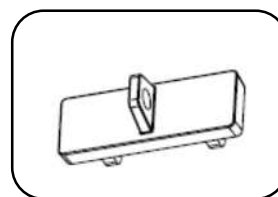


注意！ コントロールパネルを接続する前に電源を入れないでください

注意！ 電源コード(1m長)はテンションが掛からない様に、トレッドミル近辺のコンセントに取付けてください。

安全キー

使用時にはセーフティキーを接続してください。(右図参照)



※トレーニングを始めるときに必ず安全キーのクリップを衣服等に取り付けてください。

◎トレーニング中に誤って転倒したり、ベルトから落ちたときのケガを防ぐ為、安全キーが本体から外れるとベルトの回転が止まる仕組みになっています。

注意！

たるみの多い衣服に付けていると緊急時に安全キーが外れないことがあります。紐の長さを調節し、たるみの少ない部分にクリップを取り付けてください。

操作説明書

PP-Tread

SW1200

お客様へのお願い

組み立て及びご使用する前に、必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
指定以外の取り付け方法や指定以外の使用方法をすると、事故やケガの原因となる場合があります。

「取扱説明書」、「操作説明書」は必ず、いつでも見られるところに保管してください。
設置場所は水平な床の上に置き十分なスペースをとってください。

テレビ等、電磁波の発生する機器より2メートル以上離れた場所においてください。

も く じ

	ページ数
■ 操作ボタンの説明	17
■ 操作方法	18
■ トラブルシューティング	19–20
■ メンテナンス	21–28
■ 保証規定	29

操 作 ボ タ ンの 説 明



① 電源／スタートボタン

20分使用しない場合、操作パネルの表示は消えます。その後、電源ボタンを3秒間長押しすることによって操作パネルの電源が On 状態になります。その状態で、再度 ボタンを押すことで走行ベルトがスタートします。

② 一時停止／リセットボタン

走行ベルトを一時停止するときに使用します。1 秒間押すことでコントロールパネルの設定情報をリセットすることができます。リセット後は、10 秒後に“スリープモード”となります。

③ プリセット

スピードの初期値は 0.2km/hですが、使用する人に合わせて設定が可能です。

④ スピード調整

△▽でスピードを加速・減速することが可能です。

⑤ エンター/表示モード

時間(標準表示時)、歩数、カロリー、距離、速度の表示を切り替えるときに使用します。1 秒間押すことにより、5 秒ごと表示が自動的に切り替わり、さらにもう一度押すことにより自動表示を止めることができます。

注意！ 歩数は低速時にはカウントされません。

- ・ 背面の USB 充電ポート:ワイヤレスモバイル機器の充電ができます。

注意！ このポートは充電を目的とするものであって、走行データを USB に保存するためのものではありません。

操作方法

1. 本体の前方角部分にある電源スイッチをOnにしてください。

注意！ 安全キーが正しくセットされていないと本体は作動しません。

2. 安全キーをコントロールパネルに接続してください。
3. 前に使用した人の体重がパネルに点滅表示されます。正確なカロリー計算をするためご使用される方の体重を設定してください。
4. 走行ベルトを始動させるためにスタートボタンを押してください。0:00 から始まります。
5. スピード調整ボタンを押してスピードの調整をしてください。もしくは、ご自身の好きな速度にキー操作によって設定をしてください。(初期値は 0.2km/h) 詳細は別ページ(事前設定もしくは設定)を参照してください。

注意！

ステップ数は1から9,999と通常表示されます。ステップ数が9,999を超えると下記のようにディスプレイの表示方法が変わります。表示される4桁の後ろに「0」を加えてください。

1001=10,010 歩

1005=10,050 歩

1100=11,000 歩

その他機能

インテリステップ自動ステップカウント機能



インテリステップ™のカウントとは、あなたが取るステップ数(歩数)をコントロールパネルに表示します。

注意) 走行ベルトの回転の抵抗で測定している為、低速時には反応しにくい場合がございます。

インテリガード

20 秒間ステップを感知しなかった場合、自動的に止まるシステムです。

トラブルシューティング

本製品は電氣的に障害が起きるとディスプレイにエラー表示が出ます。エラー表示が出たときや本体が動かなくなってしまった時には下記を参考にしてください。また、分からない場合は販売店へ詳しい症状をご連絡してください。

症状/表示エラーコード	原因	対処方法/確認箇所
パネル(画面)が何も表示されない	電源が入っていない	電源プラグがコンセントにきちんと差し込まれているか確認してください。電源スイッチをいったん OFF にし約 15 秒後、再び ON にしてください。それでも改善されない場合は販売店へご連絡してください。
E1	3 秒から 5 秒ほど動くが、その後、走行ベルトが動かず、エラーが表示される	安全キーを外し、再度差し込んでください。 走行板へシリコンオイルを注入してください。それでも改善されない場合は販売店へご連絡してください。
運動中に止まる	ステップをカウントできていない	ユーザー設定でインテリガード機能を Off してください。
速度が遅い/早い	速度設定が正しくされていない	ユーザー設定メニューで表示単位のモードが ME か EI か正しく選択されているかを確認してください。正しく設定されている場合は販売店へご連絡してください。
走行ベルトが左右に偏る	走行ベルトの張りが左右異なる	本体についてのメンテナンスを参考にしてください。
ベルトがスリップする (ベルトだけが止まる)	走行ベルトの張りがゆるい	本体についてのメンテナンスを参考にしてください。
UART/dc-6	電気系統の異常	インバーターの故障、ケーブルの接続不良。コントロールパネルのケーブルを接続しなおし、もう一度スイッチ オンしてスタートを押して下さい。販売店に連絡してください。 解除できない場合、「UART」が表示する時、モーター基盤を交換して下さい。

ユーザー設定

1. トレッドミルのメイン電源を入れます(本体下部)
2. 安全キーを取外し、再度取付けてください。
3. [ストップ]ボタンと速度調整ボタンの「△」を 3 秒ほど長押しすると設定モードになります。
4. 速度調整ボタンの△か▽を押すといくつかの設定メニューに変わることができます。変更したい設定メニューが表示されたら[表示/自動表示]ボタンを押して確定します。
5. 選択したメニューにおいて△か▽をおして さらにメニューを選ぶことができます。
6. 希望のメニューを選択したら[表示/自動表示]ボタンを押してください。ユーザー設定終了後に表示/自動表示ボタンを再度押してください。
7. 安全キーを取外し、再度取付けてください。
8. 電源スタートを押して、ご使用ください。

ユーザー設定オプション

- ・ 最高速度: 3.2km/h、もしくは 6.4km/h を選択できます。
- ・ インテリガード: インテリガード機能の On/Off で設定が可能です。
- ・ 表示単位: 「EN: マイル表示」と「SI: メートル表示」の変更が出来ます。
- ・ 再開時のスピード: 一時停止ボタンを押した場合や再度スタートした場合、スピードの初期表示は 0.2km/h となります。再開時の初期スピードを最後の速度を初期表示に変更することができます。
- ・ 操作音: キー操作をする際の操作音 On/Off の設定ができます。
- ・ 速度制限: 走行ベルトの最高速度
- ・ 速度リセット: 一時停止した後、直前の歩行速度から再始動するか、もしくは 0.2m/h から再始動するかを選択できます。「0」表示を選択した場合、速度は 0.2/h になります。
- ・ プリセット: プリセット機能を On/Off の選択が可能です。 複数名で使用する場合は Off にしてください。
- ・ プリセット速度設定: 初期設定(2.4km/h)以外の速度に 0.1 刻みで設定できます。

設定	設定表示	画面の表示	
インテリガード	F012	ON	OFF
測定単位	F014	EN: マイル	SI: メートル
操作音	F015	ON	OFF
速度制限	F018	3.2km/h	6.4km/h
速度リセット	F019	0: 0.2km/h 始動	1: 一時停止後の速度
プリセット	F020	ON	OFF
プリセット速度設定	F021	2.4km/h	+/-0.1 設定

メンテナンス

日ごろのお手入れ

使用後は本機を清潔で乾燥した状態に保つため、中性洗剤を含ませ、固く絞った雑巾などで汗やほこり等を拭き取ってください。

3～6ヶ月ごとのお手入れ

コンセントを必ず抜きます。モーターカバーを外し、モーターや電気機器周辺の掃除をしてください。カーペットの繊維等がカバー内部に入っていることがあるため、取り除いてください。このタイミングで、ネジのゆるみがないか、電源コードに破損がないか、何か他に問題がないかを確認してください。

安全基準

定期的なメンテナンスを行う事で機械の安全基準を保つことができます。部品の摩耗や修理が必要な部品はすぐ交換するか、交換・修理が完了するまでは使用しないでください。特に摩耗に関しては注意をしてください。

注意！ 水平な堅い床の上に設置してください。

注意！ モーターカバーを外す際は必ずコンセントを抜いてください。

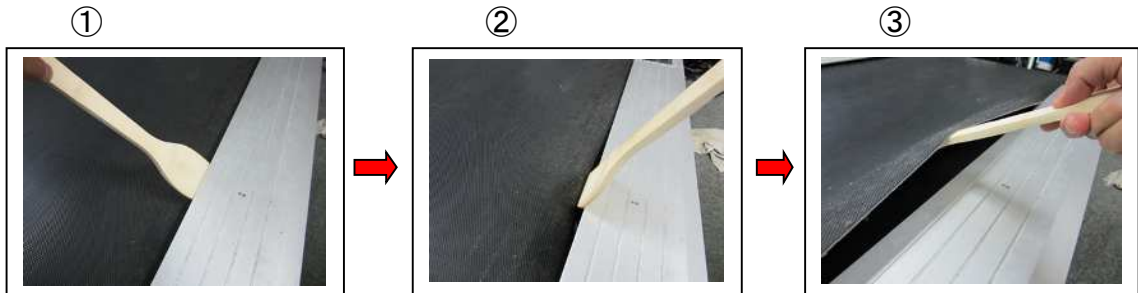
重要:故障が見つかった場合、電源を Off にし電源コードを外し使用できないようにしてください。またそれが故障中であることが誰にも分かるようにしてください。

注意:塩素系の洗剤は塗装や表面のコーティングをはがす可能性がありますので使用しないでください。このような清掃方法をされた場合、保証対象外となりますのでご注意ください。

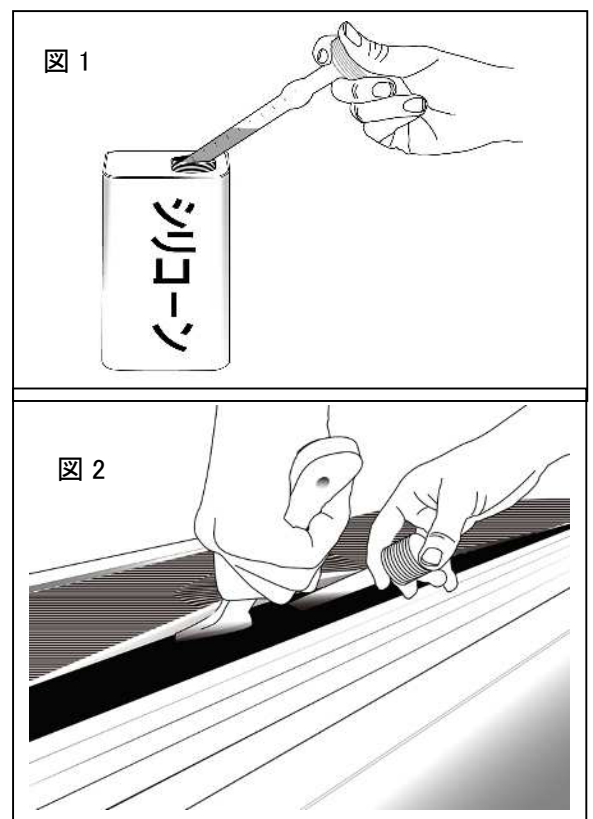
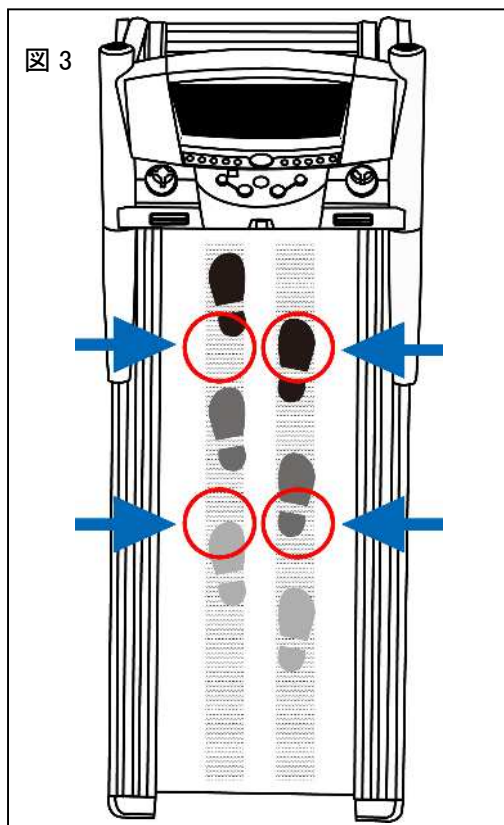
走行ベルトのメンテナンス

トレッドミルはメンテナンスが必ず必要です。その一つとして、人の足が乗る走行ベルト裏面を潤滑させるためにシリコンが必要となりますので下記の手順で3日に1度のメンテナンスをお願い致します。

1. 下記の図を参考に走行板を傷つけないようにしながら走行ベルトをめくりまします。



2. シリコン缶から専用スポイドで液を約 10ml 注入します。(下記図 1)
3. 走行ベルトを図 2 のようにヘラでベルトをめくり、浮かせて走行板のなるべく中央部に届くように塗付します。(図 3 の赤丸部分参照) 足の着地するラインを参考に左右4ヶ所から奥に塗付して下さい。(図 3 の矢印参照)
4. 走行ベルトを乗りながら1周させて塗付したシリコンオイルを伸ばします。
5. 以上でシリコン塗布の作業は終了となります。



走行ベルト裏面にシリコンが付着しておりませんと裏面がこすれ早く消耗します

（滑りが悪くなりますとモーターにも負担がかかり電気部品に熱をもちコードが焼けたりブレーカーが飛ぶことがあります）

メンテナンスは欠かさずして下さい。

※注意 シリコーンは床に付着させないで下さい。付着させますと滑って転倒の危険性がございます。メンテナンス実施時は、床を養生することをお勧めいたします。

走行ベルトの調整方法

はじめに

走行ベルトは人の体重がかかりながらも回る最も重要な部分です。
ベルトが滑りやすいように日ごろのメンテナンスが必ず必要となります。
購入時は走行ベルトが固いため、早ければ約 1 週間ぐらいで調整が必要となる場合もございます。

ベルト調整が必要となる症状

1. 走行ベルトが左右どちらかに寄っている。
2. 歩行中(走行中)に左右どちらかの足を前に着地した時に走行ベルトだけ止まるような感じがする。(スリップする)

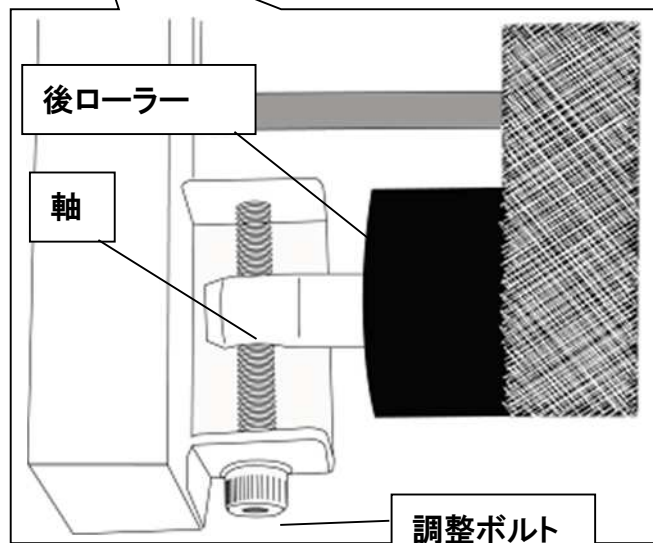
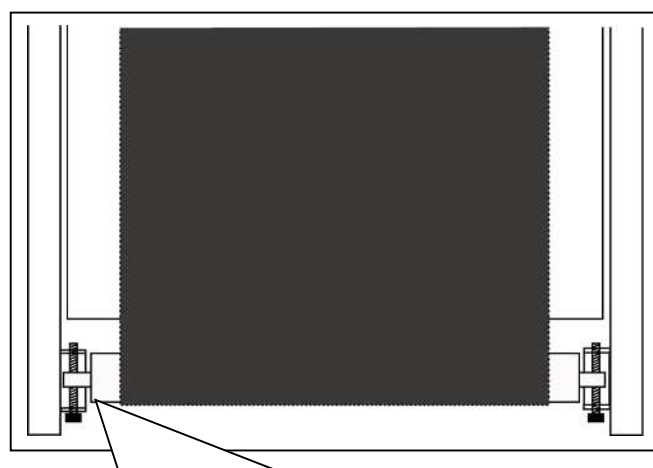


メンテナンス

1. 走行ベルトが調整できる仕組みの説明

ステップ後方のカバーの中は右図のように後ローラーの左右の軸に対して直角に調整ボルトが付いています。

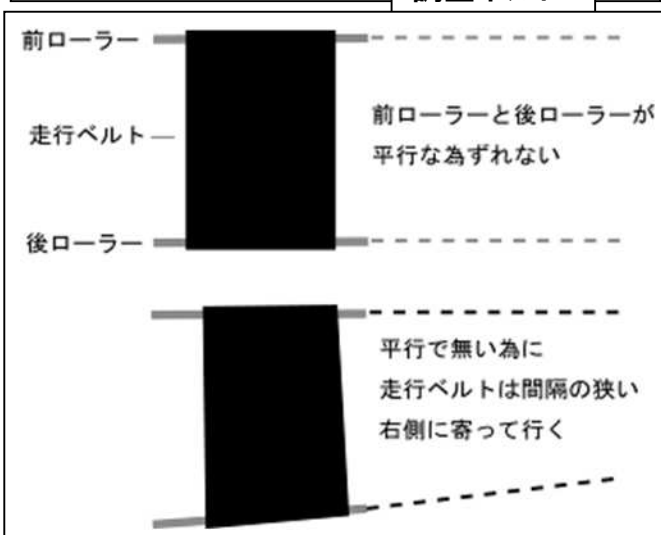
このボルトを回すことにより、後ローラーの軸にもネジ山があり、前後するような仕組みです。



前ローラーと後ローラーは上から見て平行でなければなりません。

どちらかの間隔がずれた場合は右図のようになります。

その際は寄った側の調節ボルトを回して調整が必要です。



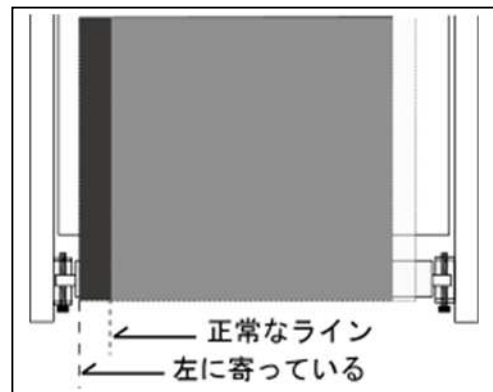
メンテナンス

2. 走行ベルトの調整の仕組みの説明

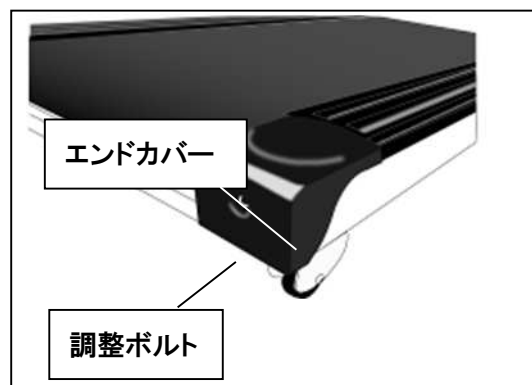
走行ベルトがずれる原因として考えられる原因

- 使用者の効き足の蹴る力
- 走行ベルトの伸び(消耗)
- 設置面の傾き

右図のように走行ベルトが左に寄っている場合の調整方法を説明します。

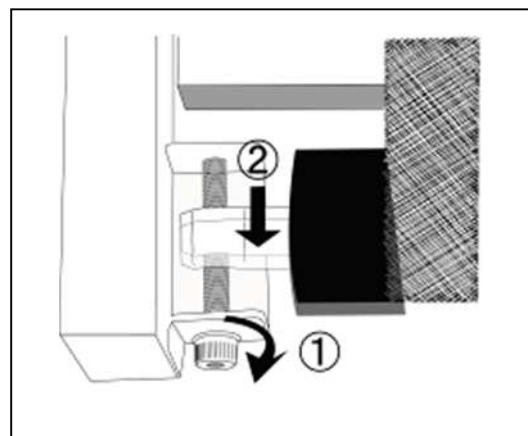


前ページで説明したように前後ローラーが平行で無い為、左に寄った場合は左側の後カバーの孔に、付属の六角レンチを使って、調整ボルトを回して調整します。右に寄った場合は右の調整ボルトを回して調整します。



右図はカバー内部の仕組みを分かりやすくするためのものです。

調整ボルト①を六角レンチで右に回すとローラーの軸②が後に下がります。



メンテナンス

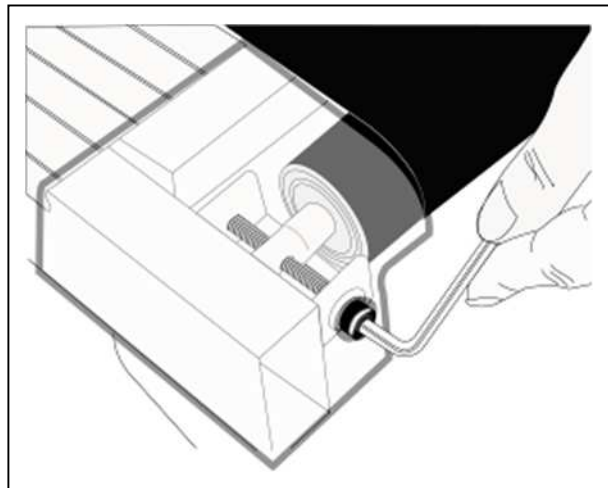
3. 走行ベルトの調整方法

1.

初めにルームランナーの電源を入れて走行ベルトを時速 2Km/h ぐらいで動かしながら調整してください。

1 度に回す目安として六角レンチは 90 度ぐらいが目安です。

あくまでも 90 度と言うのは目安ですので実際に走行ベルトが移動するのを目で見ながら微調整してください。



2.

おおよそ走行ベルトが中心に寄ったら、時速 6Km/h ぐらいに速度を上げて、人が乗らない状態で微調整を続けます。

微調整の際に逆側に寄りすぎた場合は調整ボルトを少し左回しにしたりして調整します。

3.

最後に実際に走行面に乗って、時速 4～6Km/h ぐらいで走行ベルトを回し、通常よりも強めに踏ん張るように踏み込みながら歩行してください。

走行ベルトだけが滑るような感じでしたら左右の調整ボルトを同じ回転だけ右回ししてください。ちょうど滑らなくなったところが適正の走行ベルトの張りです。



その後、通常通りの走行をしてベルトのズレを確認してください。

異常なければ走行ベルトの調整は完了です。

メンテナンス

シリコンオイルの注油効果

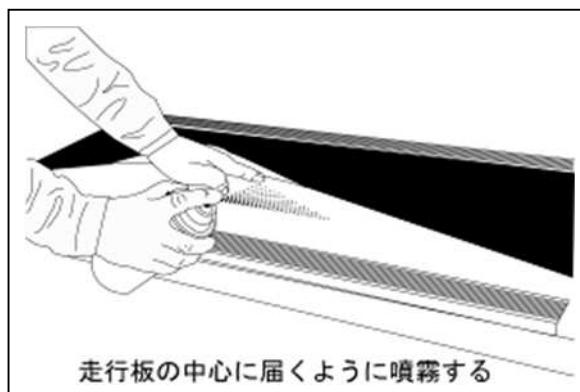
シリコンオイルは必要です！

走行ベルトは常に人の体重を乗せて走行板の上を滑っています。シリコンオイルを注入することで走行ベルトの潤滑をしやすくしており、モーターやモーター基盤等に負担が掛からないように助ける役目もしています。1～3 日毎で注油してください。

※注意 シリコンは床に付着させないで下さい。付着させますと滑って転倒の危険性がございます。メンテナンス実施時は、床を養生することをお勧めいたします。

日ごろのお手入れ

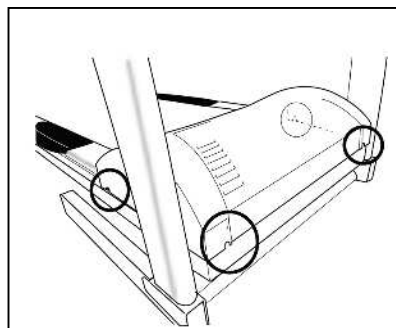
1. 走行ベルトと走行板の間に手を入れて、手の甲でベルトを持ち上げるようにします。
2. 走行板の幅の中心にシリコンオイルが届くように噴霧します。
走行板の全長の前から後まで移動させながら注入してください。
3. その後、低速スピードで人が乗った状態で走行ベルトを回して、足の裏で伸ばすように 3 回転ほど回します。



3～6 ヶ月ごとのお手入れ

●モーターカバー内の清掃

コンセントを必ず抜きます。右図の丸部分のモーターカバーのネジを外してカバーを開けて、カバー内部のホコリなどを取り除いてください。
(折畳んだ状態でネジを外すタイプもあります)



●走行板の拭き取り清掃

走行ベルトを緩めて、走行板を中性洗剤を含ませ、固く絞った雑巾などできれいにシリコン、ホコリ等を拭き取ってください。拭き取り後、走行板にシリコンを噴霧してから走行ベルトを調整します。

保証規定

※ お断りなく仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

- 1) 取扱説明書に従った正常な使用状態で、お買い上げ後1年以内に故障した場合には無償修理いたします。
- 2) 無償修理期間内に故障して修理を受ける場合は、商品に保証書を添えてご購入店または㈱モリトへ依頼または送付してください。
- 3) 無償修理期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - ・ 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ・ お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - ・ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧による故障および損傷。
 - ・ 保証書の提示がない場合。
 - ・ 保証書にお買い年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、又は字句を書き替えられた場合。
 - ・ 故障の原因が本製品以外に起因する場合。・通常消耗する部品等
 - ・ 車両や船舶等に設置された場合に起因する故障および損傷。
 - ・ 営業、業務用に使用した場合による故障および損傷。
- 4) 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 5) この保証書は保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製品に関するお問い合わせについては、弊社お客様相談室まで御連絡下さい。

■製造発売元	 MORITOH CORPORATION 株式会社 モリト	お客様相談室 ☎0120-65-2525 [モリトホームページ] http://www.moritoh.co.jp [E-mail] info@moritoh.co.jp
■本	社 / 〒491-0074 愛知県一宮市東島町3-36	TEL(0586)71-6151 FAX(0586)72-4555

VOL.3